

No.68 シリーズ 教育の窓

町民の方の  
「生きがいづくり」の  
ために  
八百津町教育委員会

私たちは、すべての町民の方が、生きがいのある充実した生活をおくることを願っています。

人間は、どんなときに生きがいを感じるのでしょうか。「旅行に行くとき」「おいしいものを食べているとき」「スポーツをしているとき」「趣味に没頭しているとき」「好きな音楽を聴くとき」「いろいろなことを学んでいるとき」など、いろいろです。そのことから、町では「生涯学習の充実」「芸術文化の推進」に力を入れています。

「生涯学習の充実」のために、公民館施設を拠点として、各種講座の開設や、町民の方によるサークル活動などを行い、ともに学びあう場として生涯学習施策を進めています。

講座では、新たなニーズに対応した内容の提供のために、講師の自主企画講座「やおつち・チャ



公民館講座で陶芸を学ぶ子どもたち

レンジ・カルチャー講座」を開催しています。みのかも定住自立圏の生涯学習情報誌「まなびのとびら」やホームページ等を活用した情報提供に努めるとともに、ファミリーセンターのロビーを整備し、生涯学習情報の発信の場とするなど、普及・啓発にも努めています。

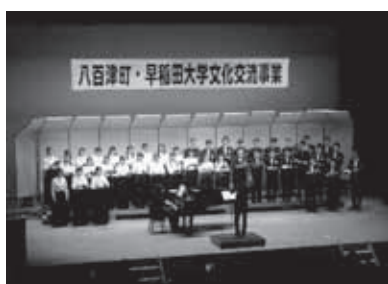
一方、「芸術文化の推進」のために、鑑賞の機会を増やすことにも力を入れています。

芸術文化は、心豊かな生きがいのある生活のためにとっても大切なものです。また、町民の方々の一体感を高め、八百津町の活性化につながるものであると考えています。

今年度も、杉原千畝氏が学んだ早稲田大学の混声合唱団による演奏会を行いました。

来場された方からは「心のもった演奏で、さわやかで学生らしい歌声、そして真剣な姿が感動的でした。」「力強い歌声に心がふるえました。これが心を動かす、心が動く芸術なのだと思います。」「などの感想をいただきました。

また、コンサート  
の翌日には、町内二つの中学校で合唱のレベルアップと心の交流を目的に、早稲田大学混声合唱団の団員と中学生との合唱交流の機会を設けました。



ワセダヒューマニティー  
コンサートの様子

今後「岐阜大学吹奏楽団演奏会」などを計画しています。

また、町民の方の発表会を増やすことにも力を入れています。

毎月第3金曜日には「ささゆりコンサート」を行っています。

八百津町や近隣には音楽活動などをおこなっている方が数多くみえます。演奏会の開催を希望している方を募り、町民の方に向けて発表していただく機会を設けているのです。

このささゆりコンサートを楽しみに毎月ご来場くださる方もおられ、徐々に定着してきているのを実感しています。

また、芸術文化を振興する環境作りのために、中央公民館の大ホールの照明設備の改修やトイレの洋式化なども行っています。

今後も町民の方の、生きがいと豊かな生活づくりに向けて、努力していきたいと思えます。



「雑花塾」による  
フォークソングのコンサート

